

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
東芝エネルギーシステムズ(株)	代表取締役社長	畠澤 守	神奈川県	製造業	https://www.toshiba-energy.com/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年7月31日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	ロジ・イノベーション活動として、荷主である「東芝エネルギーシステムズ」と物流会社の「東芝ロジスティクス」と協力して効率化、ドライバー負担軽減施策について取り組めます。
2	A	④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	出荷数日前(例:4日前)に情報を出すことで、計画的配車に努めます。
3	A	⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	出荷に合わせて生産・荷造りをすることで、ドライバーの待機時間の最小化に努めます。
4	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	船舶や鉄道の輸送を積極活用することで、長距離トラック輸送の削減や環境負荷低減に努めます。
5	D	①	荷役作業時の安全対策	荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。
6	F	①	独自の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主として適切な物流管理が行えるよう、全社員へ教育致します。 ・「トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化」のため、輸送制限から逆算し、製品設計に積極的に取り込みます。 ・エキストラ作業、待機時間などの最小化に努めます。
PR欄				